

テルサホール

開会式 9:45

会長講演 10:00～10:45

座長：伊藤文代（国立循環器病研究センター 看護部長）

「看護学生の今と、これから」

講演者：山本薫里（国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校 副学校長）

特別講演 10:50～12:00

座長：三井佐代子（国立病院機構京都医療センター 看護部長）

「京都花街に学ぶ、人育ての極意」

講演者：西尾久美子（京都女子大学現代社会学部 教授）

教育講演 13:20～14:30

座長：青芝映美（国立病院機構呉医療センター 副院長・看護部長

国立病院看護研究学会 理事長）

「仕事はあなたを支えてくれます

ーキャリア開発とワーク・ライフ・バランスー」

講演者：青山ヒフミ（甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授）

シンポジウム 14:40～16:20

座長：清家百合枝（国立病院機構大阪医療センター附属看護学校 副学校長）

小川恵子（国立病院機構名古屋医療センター 看護部長）

「改めて考えるー看護に求められるニーズの充足ー」

「環境（臭い） ～「臭い」から「匂い」へ～」

演者：中谷康孝（国立病院機構やまと精神医療センター 副看護師長）

「病院給食の変遷 ～過去・現在・未来～」

演者：西田博樹（国立病院機構京都医療センター 栄養管理室長）

「命を支える口腔ケア」

演者：玉村好美（国立病院機構名古屋医療センター 看護師）

「キレイは生きる力になる ～闘病中も自分らしく暮らすためのヒント～」

演者：山崎多賀子（美容ジャーナリスト/NPO 法人 CNJ 認定乳がん体験者コーディネーター）

閉会式 16:25

B会場（中会議室）

口演1 基礎教育 発表時間：10:10～10:50 演題番号 O1～O4

座長：岩井幸子（大阪南医療センター附属大阪南看護学校 副学校長）

O-1 看護専門学校1年次教育における基礎看護技術の習得に向けた 教育方法の工夫 —iPad等の視聴覚教材を作成したことに対する学生への調査結果より—

川上佐代（国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護助産学校）

O-2 看護倫理の授業方法についての一考察

—学生の経験とグループワークによる気づきの記述内容分析—

西村由紀子（国立病院機構九州医療センター附属福岡看護助産学校）

O-3 看護実践能力向上に向けた看護技術教育の実際

—バイタルサイン測定の基本動作の抽出と教育方法の工夫—

石川涼太（国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護助産学校）

O-4 看護学生からみた実習指導の実態

石井智子（国立病院機構 仙台西多賀病院）

口演2 現任教育 発表時間：11:00～11:50 演題番号 O5～O9

座長：木下美佐子（福島病院附属看護学校 教育主事）

O-5 新人看護師の看護技術力向上に向けての取り組み —自己研鑽の看護技術研修を実施して— 松田勇児（国立病院機構大阪医療センター）

O-6 看護師の新人看護師指導力の現状と新人看護師指導経験および実習指導者経験との関係 杉山裕一（国立病院機構東京病院）

O-7 新人看護師の離職率の低下に向けた課題の検討 —入職1年後の現状調査における分析結果から—

三好麻紀（福岡女学院看護大学）

O-8 新人看護師に対する多重課題演習の成果 —救命救急センター新人教育係による机上シミュレーション教育の成果—

宮崎一起（国立国際医療研究センター病院 救命救急センター）

O-9 卒後2年目看護師教育における課題 —OJTでの取り組みの評価と課題— 木村麻紀（国立国際医療研究センター病院）

A会場（視聴覚研修室）

口演3 看護管理・看護師の意識 発表時間：10:10～11:00 演題番号 O10～O14

座長：池田富三香（石川病院 総看護師長）

O-10 A病院のワークライフバランスインデックス調査の実態報告

芦刈智美（国立病院機構嬉野医療センター）

O-11 結核病棟に勤務する看護師の看護実践を通して得られるやりがいを構成する因子 信澤治子（国立病院機構東京病院）

- O-12 新人看護師の離職防止への取り組み**
—アートセラピストとの連携した対人スキルアップ研修を導入して—
中鉢則子 (国立病院機構仙台西多賀病院)
- O-13 東海北陸グループ機構病院における新採用者の職場ストレスの実態**
眞田正世 (国立病院機構長良医療センター)
国立病院機構東海北陸グループ看護部長協議会
- O-14 新任の看護師長として異動した看護教員が看護管理実践の中で直面する困難の実態**
井田昌子 (国立病院機構帯広病院 (前国立病院機構福島病院附属看護学校))

口演 4 臨床看護 発表時間：11:10～11:50 演題番号 O15～O18
座長：荒木輝美 (姫路医療センター 看護部長)

- O-15 患者の理解度に合わせたがん化学療法オリエンテーションの実践と継続看護への取り組み**
—患者が安心して治療を受けられるための問題解決技法を用いた実践の報告—
小池孝子 (国立がん研究センター中央病院)
- O-16 顕著な行動障害を示す新規入所者の専門的な看護の関わり** —応用行動分析を使って—
細田 実 (国立病院機構やまと精神医療センター)
- O-17 急性期病棟で終末期がん患者のケアを提供する看護師の困難感**
櫻井真知子 (国立病院機構京都医療センター)
- O-18 がん専門病院におけるせん妄対応の統一にむけた取り組み**
土師菜緒子 (国立がん研究センター中央病院)

口演 5 臨床看護 発表時間：13:30～14:20 演題番号 O19～O23
座長：下高恵子 (東広島医療センター 看護部長)

- O-19 人工呼吸器を使用している患者の鎮痛・鎮静管理に対する看護師の意識**
—2000年から2014年の和文献の検討より—
仁平知保 (国立国際医療研究センター)
- O-20 気管切開孔のスキンケアの変更** —清拭による清潔保持とワセリン塗布を実施して—
上原主義 (国立病院機構旭川医療センター)
- O-21 吸引時における喀痰飛散状況の検討**
田井麻理恵 (国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター)
- O-22 IPV療法の効果を高める方法の探求** —体位排痰法との併用—
上原雅美 (国立病院機構奈良医療センター)
- O-23 摂食障害で入院治療を受けた子どもをもつ母親の心理的体験**
—子どもの食事管理に関する心理的体験に焦点を当てて—
新居由美子 (国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター)

口演 6 チーム医療・看護管理 発表時間：14:30～15:20 演題番号 O24～O28
座長：森下まり子 (兵庫中央医療センター 看護部長)

- O-24 円滑なチーム医療が、患者・医療スタッフにもたらす影響**
—両側延髄梗塞患者の症例を通して—
直川法子 (国立国際医療研究センター国府台病院)

- O-25 手術室における多職種間の術前情報共有に関する意識調査
秋田谷早記 (国立病院機構仙台医療センター)
- O-26 **Clinical Research Coordinator (CRC) のキャリア開発にむけての現状と課題**
—看護師 CRC のやりがいに関する意識調査より—
中尾貴子 (国立病院機構三重中央医療センター)
- O-27 結核病棟に勤務する看護師の看護実践能力と退院調整に関する役割遂行との関連
和久恭子 (国立病院機構東京病院)
- O-28 小児患者を対象としたシミュレーション教育に関する研究動向と今後の課題
堀 郁子 (国立病院機構東京医療センター)

C会場 (セミナー室) 時間 : 10:30~11:30 演題番号 P1~P36

- P-1 神経内科病棟における手指衛生回数・手指衛生行動の実態
岸本亜衣 (国立病院機構兵庫中央病院)
- P-2 血管内留置カテーテル血流感染対策の重要課題
—感染防止チェックリストによる評価を行って—
和田典子 (国立がん研究センター中央病院)
- P-3 体位固定による神経障害再発予防に向けた医療安全管理係長の取り組み
宮地由紀子 (国立病院機構大阪医療センター)
- P-4 当院における転倒・転落事故防止対策の傾向と課題
壽司英子 (国立病院機構東近江総合医療センター)
- P-5 転倒・転落防止のための取り組み
—転倒・転落防止対応フロー・転倒・転落防止基準計画の活用—
漣 美音 (国立病院機構兵庫中央病院)
- P-6 療養介助員教育におけるリスク研修の評価
加藤万里代 (国立病院機構長良医療センター)
- P-7 オリーブオイルを用いた高齢者のスキンケア —保湿時間の検証—
石井ひかる (国立病院機構千葉医療センター)
- P-8 リクライニング式車椅子に乗っている患者の皮膚のズレ、摩擦について検討する
—抗摩擦マットレスを使用して—
三瀬恵子 (国立病院機構奈良医療センター)
- P-9 褥瘡・NST リンクナースによる褥瘡対策の指導
—B病棟における褥瘡対策活動を振り返って—
高田 学 (国立がん研究センター東病院)
- P-10 褥瘡対策委員の褥瘡予防・基礎に関する知識調査 —効果的な学習会開催を目指して—
大山輝美枝 (国立病院機構帯広病院)
- P-11 ストーマ看護実践能力尺度を用いた看護実践能力の把握と強化 第1報
堀 由佳 (国立病院機構三重中央医療センター)

- P-12 ニカルジピン投与による末梢静脈炎の発生要因分析
町田千代 (国立病院機構九州医療センター)
- P-13 在宅療養中の慢性心不全患者の療養行動としての水分管理の実態
西 亮太 (国立国際医療研究センター病院)
- P-14 心サルコイドーシス患者の受容過程による内服指導の導入
ーフィンクの危機理論による分析ー
青柳 覚 (国立循環器病研究センター)
- P-15 頸部温罨法による術後せん妄発生予防への取り組み ー第1報ー
杉村真波 (国立病院機構京都医療センター)
- P-16 消化器手術における術後せん妄発症要因の実態調査
三浦麻衣 (国立病院機構仙台医療センター)
- P-17 フィジカルアセスメント技術の実施と修得状況
木村友美 (国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校)
- P-18 看護技術演習(フィジカルアセスメント)後の意識
ーフィジカルアセスメントの活用に関する学生の意識に焦点をあててー
野中智恵 (国立病院機構別府医療センター附属大分中央看護学校)
- P-19 急性期看護学実習に向けた術後観察シミュレーションの効果
ー学生がモデル人形を準備してー
谷内典子 (国立病院機構高知病院附属看護学校)
- P-20 卒業前技術演習における学生の学び
西園里美 (国立病院機構都城病院附属看護学校)
- P-21 看護技術統合・演習におけるルーブリック評価表の作成
田原佳奈 (国立病院機構高知病院附属看護学校)
- P-22 コミュニケーション実習における学習効果向上への取り組み
ー実習目標・週計画の見直しをしてー
金田 瞳 (国立病院機構三重中央医療センター附属三重中央看護学校)
- P-23 小児看護学実習における学びの実際 ーシャドウイングを取り入れた看護実践の効果ー
内田美鈴 (国立病院機構九州医療センター附属福岡看護助産学校)
- P-24 外来化学療法センターでの実習における学生の学び
ーイメージマップを用いた分析、第一報ー
田中雅子 (国立病院機構京都医療センター)
- P-25 看護学生の個人情報意識した実習記録管理に関する認識
遠藤真理 (国立病院機構福島病院附属看護学校)
- P-26 患者指導体験の効果と課題 ー慢性期看護実習における学生の实習終了後アンケートからー
副島理沙 (国立病院機構九州医療センター附属福岡看護助産学校)
- P-27 実習指導者の具体的な役割に対する実態調査
ー指導者の感じる困難感の実態と今後の課題についてー
小林加奈 (国立病院機構北海道がんセンター)
- P-28 看護学実習における教員の教材化の構造
渡邊真弓 (国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校)

- P-29** 火災訓練における学生の避難時に対する意識調査
佐久間真樹 (国立病院機構山形病院附属看護学校)
- P-30** 看護基礎教育における看護学生の感性を育む教育方法
上南雪野 (国立病院機構大阪医療センター附属看護学校)
- P-31** 看護学生のチューター制度の活用状況
—看護学生1年次生への質問紙調査結果の分析を通して—
加藤有美子 (国立病院機構別府医療センター附属大分中央看護学校)
- P-32** 看護教員の授業の質向上に関する認識調査
榎本里香 (国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校)
- P-33** 看護教員のためのインターンシップ開催の効果を探る
—教育・教員・学生・教育の仕事のイメージを研修前後で比較して—
齊藤伊都子 (東海北陸支部看護学校副学校長)
- P-34** 犯罪被害者支援関連教育の実態調査 —看護系大学教員への質問紙調査—
平井 和明 (国立病院機構別府医療センター附属大分中央看護学校)
- P-35** 当院における STS の質の向上への取り組み —母親へのインタビューを行って—
須田有里菜 (国立病院機構埼玉病院)
- P-36** 慢性期病院外来での救急蘇生シミュレーション研修の取り組み
中村明美 (国立病院機構紫香楽病院)

C会場 (セミナー室) 時間 : 13:50~14:50 演題番号 P 37~P 71

- P-37** 若年性アルツハイマー型認知症患者への個別的関わり
三好真希 (国立病院機構北陸病院)
- P-38** 認知症高齢者を介護する家族の心情の経時的変化
—ケアマネージャーへのインタビューを通して—
沖本麻未 (国立がん研究センター中央病院)
- P-39** 神経難病患者の家族が感じている介護への思い —レスパイト入院患者の家族の調査より—
上小鶴鮎美 (国立病院機構宇多野病院)
- P-40** 筋ジス病棟におけるナースコールの実態調査 —ナースコール件数から見えてきたもの—
國知華子 (国立病院機構広島西医療センター)
- P-41** SEIQoL-DW を用いた筋ジストロフィー病棟における QoL の実態調査 第2報
長根 綾 (国立病院機構東埼玉病院)
- P-42** 重症心身障がい児(者)に対するムーブメント活動の有効性
—緊張の緩和・表情豊かな患者の姿を目指して—
高橋ゆり子 (国立病院機構小諸高原病院)
- P-43** 拒否的反応を示す重症心身障害者の摂食への関わり —「楽しく食べる」ための第一歩—
三好恭子 (国立病院機構帯広病院)

- P-44 前立腺癌ヨウ素（I-125）シード線源 小線源療法に関する情報源と治療を選択した要因と不安についての家族調査
近江麻理（国立病院機構東京医療センター）
- P-45 認定看護師のがん病名告知面談への介入
藤田浩美（国立病院機構浜田医療センター）
- P-46 外来で内服抗がん剤を服用中の患者に対する看護介入の検討
西澤雅美（国立病院機構刀根山病院）
- P-47 血液・造血器腫瘍患者へのターミナルカンファレンス前後の看護師の意識の変化
—看護師へのアンケート調査を実施して—
西林 愛（呉医療センター・中国がんセンター）、NHO 血液看護ネットワーク参加施設
- P-48 院内の認定看護師による在宅訪問の意義
—不安、抑うつ、がん疼痛を有する独居の肺がん患者への切れ目のない緩和ケア—
武田ヒサ（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター）
- P-49 結核病棟における結核治療についての患者用テキストの作成
—患者教育の質向上を目指して—
木下乙女（国立国際医療研究センター病院）
- P-50 生活習慣改善支援パス入院の有効性と今後の課題
真田愛里（国立国際医療研究センター国府台病院）
- P-51 継続看護にかかわる外来看護師の思い
森下百恵（国立病院機構浜田医療センター）
- P-52 急性期病院の退院調整の現状と今後の課題
盛真知子（国立病院機構東京医療センター 退院支援看護師）
- P-53 退院・在宅療養支援の向けた取組 —がん専門病院における緊急入院の実態報告—
角田恵理子（国立がん研究センター東病院）
- P-54 結核患者の退院支援に関する一考察 —困難事例の振り返りから—
前田愛子（国立国際医療研究センター病院）
- P-55 精神科閉鎖病棟の在院日数長期化に関する要因
—過去1年間の入院患者カルテ調査から見えたもの—
山本晃史（国立病院機構帯広病院）
- P-56 新人看護師卒後教育の評価 —「心に残った看護場面のレポート」からの分析—
山野かずみ（国立病院機構南和歌山医療センター）
- P-57 新卒看護師ローテーション研修方法の検討
—基礎看護技術体験チェックリストとアンケートの結果から—
濱裕美子（国立国際医療研究センター病院）
- P-58 新人教員育成プログラム活用による成果と課題 —新人教員の自己評価結果の分析から—
加藤かずみ（国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校）
- P-59 がん専門病院個室病棟における円滑な看護業務のための取り組み
黒崎恵美（国立がん研究センター中央病院）
- P-60 当病院における災害時の対応や看護に対する看護師の意識・関心についての実態調査
伊藤ゆい（国立病院機構北海道医療センター）

- P-61** 手術室アクションカードの導入と防災マニュアルの改訂との試み
—防災対応力の向上を目指して—
佐々木あゆみ (国立病院機構北海道がんセンター)
- P-62** 子育て中(未就学児)の看護職の夜勤に対する意識調査(第2報)
野上宏美 (国立病院機構三重病院)
平成25年度東海北陸支部研究
- P-63** 看護職における職務意欲調査
—A病院での重症心身障がい者(児)病棟と一般病棟の比較—
宗像久美子 (国立病院機構福島病院)
- P-64** A病院に勤務する看護師の仕事意欲と求める人的支援
佐竹美保 (国立病院機構宇多野病院)
- P-65** 教育的立場にある看護師の教育ニーズと教育支援内容の検討
榊原美穂 (国立病院機構名古屋医療センター)
- P-66** A病院における副看護師長の役割遂行の程度に関する自己評価
—課題として示された「業務管理」「教育」「病院経営」に着目して—
廣瀬智子 (国立がん研究センター東病院)
- P-67** 社会人基礎力強化活動に必要な看護管理者の支援
—第2報 社会人基礎力強化活動の効果—
平松玉江 (国立がん研究センター中央病院)
- P-68** 潜在看護師に対する効果的な復職支援
望月知奈美 (国立病院機構南和歌山医療センター)
- P-69** Clinical Research Coordinator (CRC) のキャリア開発にむけての現状と課題
—職業別・経験年数別におけるCRC教育の課題について—
松井いづみ (国立病院機構京都医療センター)
- P-70** Clinical Research Coordinator (CRC) のキャリア開発にむけての現状と課題
—臨床研究・治験支援の現状から—
吉井一恵 (国立病院機構岡山医療センター)
- P-71** Clinical Research Coordinator (CRC) のキャリア開発にむけての現状と課題
—看護師CRC教育について施設実態調査から考える—
羽田かおる (国立病院機構大阪南医療センター)

D会場（第2会議室）

教育セミナー 12:00～13:00 / 13:00～14:00

「がん治療中の悩みに答える美容のノウハウ」

講師：山崎多賀子（美容ジャーナリスト

NPO 法人 CNJ 認定乳がん体験者コーディネーター）

